



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address: 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan

Mail : uenoashiya@kdb.biglobe.ne.jp

URL : http://www.kobeymca.org/kobe_yymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 ケンワン・オン(シンガポール)
"Faith, Love, Action" 「信念、愛、行動」
アジア太平洋地域会長 田上 正(熊本むさしクラブ)
"Act now with faith and love" 「信念と愛を持って行動しよう！」
西日本区理事 中井真一(奈良クラブ)
"Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!" 「世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!」
六甲部部長 柳 敏晴(神戸西クラブ)
「温故知新 Visiting Old, Learning Now!」
芦屋クラブ会長 田辺征一
「クラブを愛し楽しみ仕えあう」
(Love, work for and enjoy the Club, together)

今月の聖句

さて、イエスがカファルナウムに入られると、一人の百人隊長が近づいて来て懇願し、「主よ、わたしの僕が中風で家に寝込んで、ひどく苦しんでいます」と言った。そこでイエスは「わたしが行って、いやしてあげよう」と言われた。

<マタイによる福音書 8 章 5-7 節>

11月第1例会

と き: 2025年 11月19日(水) 19:00~21:00

と ころ: ホテル竹園芦屋3F

司 会: 山口光一ワイズ

- | | |
|----------------|----------|
| 1. 開会点鐘 | 田辺征一会長 |
| 2. クラブソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 権 甲植ワイズ |
| 4. ゲスト・ビシター紹介 | 山口光一ワイズ |
| 5. 食前感謝 | 権 甲植ワイズ |
| 6. 会食・懇談 | |
| 7. ゲストスピーチ | 浅野純一ワイズ |
| 「イギリス王室と日本の皇室」 | (西宮クラブ) |
| 8. 第2例会議事録の承認 | 田辺征一会長 |
| 事業委員の報告 | 各事業委員 |
| 9. YMCA報告 | 井島裕介担当主事 |
| 10. ニコニコ献金報告 | 坂東幸子ワイズ |
| 11. 誕生日祝い | 田辺征一会長 |
| 堤 清サイズ | |
| 12. 閉会点鐘 | 田辺征一会長 |

会 長 田辺征一
直前会長 柏原佳子
副 会 長 福原吉孝
書 記 柏原佳子
会 計 桑野友子
監 事 上野恭男
担当主事 井島裕介
六甲部地域奉仕・環境事業主査 福原吉孝

11

Nov., 2025
340 号

「神戸 YMCA の秋祭りによせて」

上野恭男



錦秋の秋、いろいろな祭り、交流会など毎年のことながら、今年は何を！と思うこの頃、YMCA の秋祭りが 10 月 25 日に開催されました。YMCA を支援するワイズの一員としてお昼過ぎに参りました。お天気も良く YMCA の前庭は食べ物のコーナーがずらりと並び賑わいがありました。が、いざ何にしようかと考えて歩き始めたときに声があり、鶏のから揚げとポテトだけですがとのこと。みたらし団子、おいしいおにぎり、ホットドッグ、焼き鳥、水餃子、などなどは売り切れでした。食べ物の恨みは怖いですよ！と詰め寄るわけにもいかず、残り物でお腹を済ませました。

さて巻頭言は、今月は馬肥える秋ですので思いを食にいたします。ワイズメンズクラブはやがて六甲部部会、第2回評議会と大事な行事を控え、交流の楽しさを大いに学んでほしいと思います。「楽しくなければワイズじゃない」を標語にされている方も大勢おられる六甲部です。食事をしながらの会話は弾みます。新入会の方とすぐ仲良くなれる特効薬です。コロナも一段落し、交流をすることに制限はありませんので、友を作り EMC につなげていければもっと良いですが、これは少々難しいですか！

10月例会集計

第1例会出席メンバー		例会出席率		BF切手	
10名	名	出席者	10名	累計	gm
メネット	名	メイクアップ	1名	ニコニコ	
コメット	名	合計	11名		
ビジター	名	在籍者	17名	0円	
ゲスト	名	(内広義会員1名)			
合計	10名	出席率	68.8%	累計	40,810円

10 月第1(移動)例会報告

日時: 2025年10月16日(木)12:00~18:00

場所: 朝日新聞社見学&ニューミュンヘン(大阪)

責任者: 福原吉孝 (敬称略)

参加者: 田辺征一 会長・上野恭男・柏原佳子・桑野友子
島田 恒・堤 清・濱瀬真知子・坂東幸子
福原吉孝・船橋知子

今回の10月例会は、「朝日新聞大阪工場見学ツアー」として、開催した。

芦屋クラブ10名のメンバーが阪神野田駅に集合し朝日新聞大阪工場の見学の開始となった。大阪工場の案内は、2名の女性の見学案内係の方で丁寧に案内して頂いた。

芦屋ワイズメンズクラブのみなさん



まず、展示資料の説明を受け、明治時代からの朝日新聞の歴史、昔からの印字を組んでの凸版印刷から、綺麗なカラー写真が掲載できる高速オフセット印刷に至る変遷の歴史を拝聴した。さらに、取材されたニュースが編集され、新聞記事の原稿がどのように管理、発信され、添削を経て、膨大な量の新聞を印刷するのか等、説明を受け見学を開始した。

朝刊や夕刊になる1.3トンもある大きなロール用紙を運んでいくシステムを見学し、凄いスピードで印刷し、新聞が出来るシステムを見ることが出来た。工場には、新聞印刷のインクの臭いが漂っていた。新聞は、カラー写真が当たり前であり、高速オフセット印刷で大きな輪転機が次々と新聞を作っているシステムには驚きをもって見学した。



配送では、大阪工場から出来上がった配送システムによって新聞販売所経由し、駅、コンビニでの販売、宅配によって、手元に届きニュースを確認できる。この工場から肅々と毎日、愛読者の手元まで届くようにシステム化は、当たり前として行われている。

参加者はそれぞれの巨大な輪転機、カラー印刷のシステムやその圧倒されるスピードで、毎日、毎日途切れることなく手元に届けられる新聞に、改めて驚いた次第である。参加者は、新聞が身近な存在であり、朝刊、夕刊、新聞少年による宅が当たり前で、日常、新聞は、必須のアイテムとして存在していた。

近年、新聞の購入者は激減しており最盛期から半減している状況であり、若い方の宅配での新聞購読はなくなり、通勤電車で新聞を片手に読むサラリーマンは、ほとんど見かけることはなくなった。ニュース、情報確認は、YouTube、ライン、メールで確認するのが主流となった。私達、熟年世代にとって必須のアイテムである新聞や書籍などの文字媒体から、携帯やパソコンによる情報確認、メールでの情報伝達、交換が主流となっている。これも時代の流れということだろう・・・？

さて、見学を終えると、「芦屋ワイズメンズクラブの朝日新聞見学記念」として、カラー印刷の写真が一面に載った朝日新聞が配布された。つい2時間前に記念撮影したばかりなのに、もう新聞として発刊され記事もしっかりと間違いのない内容である。びっくり仰天した。今日は、新聞の歴史、新聞が出来るまでの仕組み、手元に届くまでの配送システム等、初めての経験であり、興味深い見学会であった。朝日新聞大阪工場の皆様に大変感謝したい。有難うございました。

なお、懇親会は大阪駅地下一階のミュンヘンで開催し、美味しいビールとお食事ですっかりとおしゃべりを楽しんだ。

福原吉孝

「新聞と私」

中学校の社会見学で大阪中の島にあった朝日新聞社に行ったことがありました。詳細は覚えていませんが、輪転機が目の前でガーと回り新聞が猛スピードで送られていたのが印象的でした。これまでの新聞記事で今も記憶に残っているのは、古くは金閣寺の全焼、第1次南極観測船宗谷丸の南極到着、ガガーリンの世界初の宇宙飛行、これらは大きな写真付きのトップ記事でした。また、連載小説風に書かれたノーベル物理学賞受賞の湯川秀樹博士の伝記物語などを熱心に読んだ気がします。テレビのない時代、新聞は貴重な情報源でした。若い時の感動・衝撃は強烈であり、いつまでも記憶に残り、時に人生を左右する。それゆえ青春時代に何に触れるかは非常に大切だと思います。

近年、SNSの普及に伴い特に若者の新聞ばなれが進んでいるようです。個人が発したウソ・デマ・でっち上げに振り回され自分に都合の良い情報がひとり歩きする。そこでは、客観的なものの見方・考え方の大切さが見落とされてしまう。現在の新聞の発行部数は最盛期の半分以上で、ますますの減少が予想され、近い将来、経営上この度のような新聞社見学もなくなる可能性があるとのこと。

今回の見学で知ったことがある。それは、先の戦争の当初、報道機関は軍部の暴走と侵略に批判的であったが、戦果に熱狂する国民と新聞購読部数の増大に呼応して次第に戦争一色に染まっていったとのこと。このことは民主主義と平和を考えると、忘れてはならないことです。

工場見学前に撮った記念写真が見学終了後、「朝日新聞見学記念版『芦屋ワイズメンズクラブのみなさん』」として配布されたのには驚きました。"さすが新聞社！" その対応の早さに脱帽。
田辺征一



朝日新聞に思うこと

10月16日(木)朝日新聞大阪工場に、芦屋ワイズの皆さまと訪れました。

私の朝食の時間に欠かせない朝日新聞、長年の豊かな朝のルーティンです。

特に楽しみにしている記事は、「語る 人生の贈り物」「ひととき」そして「天声人語」です。何年も読み続けている欄です。これらの記事は、時代の流れの中、人々の感情の移り変わりなど日常の何気ない出来事が書かれていて、とても面白い欄です。

10月23日の天声人語の記事

詩画で知られる星野富弘さんの記事、数日前から芳香がただよいはじめたキンモクセイの絵と言葉「花が咲くのは年に1度、あとは静かに時を待っている、あくせくするのは止めよう1度でいい、一つでいい」ハッとする内容でした。

初めての工場見学で、新聞購読の楽しみが又1つ増えました。それは1面の隅っこにある初めて目にしたマークの意味です。見学の朝日新聞海老江工場の輪転機番号、機板マークがエビマークすべての地域にマークがあるそうです。



阪神間のマークは野球のベース、なるほど、今まで気がつかなかった。

小さな小さなマークにも、大切な意味がありました。

最後はやはり第1面トップ記事に載った「芦屋ワイズメンズ

クラブの皆さん」写真入りの記事、思い出の見学記念新聞となりました。丁寧に案内、説明してくださった係の方に感謝の1日となりました。

濱瀬 真知子

じゃがいもファンドの特大のカボチャ

大きなカボチャがじゃがいもファンドと共にやってきました。最近のカットしたものしか見かけないので、ふっと同じマンションのプリスクールに通っているお嬢ちゃまが喜ぶのではと思ひママにお尋ねしました。欲しいと2つ返事がきて、早速ネットで送られてきたドレスを着ての写真が送られてきました。

ハロウィン当日、プリスクールでの仮装に映画「美女と野獣」のお姫様になりすましてtrick or treat(おかしをくれなきゃいたずらすぞ)と言っておやつをもらってビンゴゲームを楽しんだそうです。

私たちの頃は秋の収穫の感謝祭と



して果物を盛り付け感謝したのを、覚えております。

古代ケルト民族のお祭りから由来したらしいです。

大きなカボチャファンドのおかげで可愛い凧ちゃんと弟君の後ろ姿の写真を見て、若返ったように感じ楽しい想いをさせて頂きました。

坂東幸子

拝啓 五十嵐誠二さま かほるさま

昨年のクリスマス例会以来ほぼ、1年ぶりにお会いでき楽しい時間を過ごせましたこと、心から嬉しく思います。H竹園の「きく」も久しぶりでした。

所属されている芦屋西教会の墓前礼拝に帰ってこれられるとのニュースで、思わずランチをご一緒したいと話が進みました。これも「ジャガイモファンド」のご縁ですね。埼玉に行かれてからも長くファンドに貢献いただき感謝です！

堂々たるご体格の政二さま、コロコロと明るいお話しぶりのかほるさまは、ちっともお変わりなくお食事をいただきながら話が弾みました。「おいくつになられます？」「97歳かしら？」「イエ！96歳です。明後日97歳になります！」今は、東日本区の川越クラブに所属されておられますが、きつとbirthdayを祝っていただくことと祈ります。

なんどか「でもあちらは、何にもないところで、やはり芦屋はいいですね～」と口にされておられました。「こちらにおられても良かったかも・・・？」けれども政二さまは、「やはり娘のために近くにいてやらねば」とおっしゃいました。確かに、今の芦屋クラブを捉えても、結構高齢化ではありますが、子供や人に頼りたいと考えておられる人は少ないと思います。まだまだ自分のできることを見つけてできることなら役立ちたい！そして時には、助けられていると気づきがあったりそのような場であると思います。



ワイズに限らずですが、人の交わる場所で様々な意見交換と奉仕の喜びを楽しむ心があれば、人は老わないと思いました。川越クラブを訪問するお約束を交わし、しばしのお別れを惜しみました。

ますますご健勝で若々しくお過ごしくださいますようお祈りいたします。かしこ 柏原佳子

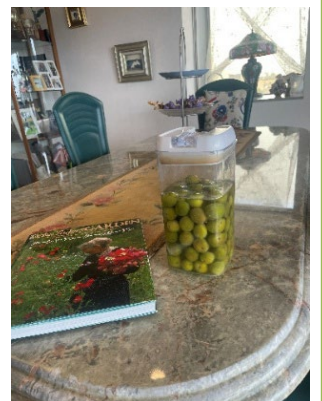
オリーブの収穫祭♪ II

今年オリーブの実、昨年に比べ大きさも色も数も倍以上に育ちました。

暑かったでしょうによく頑張ってくれました。摘み取るときはワクワクします。

3晩流水で灰汁を出し切り、3パーセントの塩水に漬け込む。ターシャになり切ったような気持ちで厳粛に保存容器に移します。今回は、主菜の飾りやおつまみのみではなく、娘からは「オリーブのガーリックライス」のface bookが送られてきました。私は、オリーブのスパゲティを早速作りました。

たっぷりのお礼の肥料を「ありがとう」の言葉とともに与えました。来年も頑張ってほしいものです。



柏原佳子

『聖句 読み説き』

福音書のエピソードはある百人隊長がイエスの所に来たことを記しています。それは、ただ「自分の僕が苦しんでいる」から何とかしてやりたいと言う思いからでした。自分に関わっている部下に対して憐れみをかけるというのは、人の上に立つ者として当然求められる事でした。それでもこの人は人の「苦しみ」を感じることが出来ました。「苦しんでいる」という言葉にこの人の優しさを見ることが出来ます。ですから、イエスの所に来る前にもきっと「医者に診せたり・薬を買ったりという出来る限りの努力はしてきたのだろうと想像できます。自分の出来る事をした後、」それでも「僕」の病気が良くならなかったのも、わざわざ出かけていって、当時評判だったイエスという人に頼んでみるという労を厭わなかったのです。重ねて言えば、彼は百人隊長のローマ人ですから、ユダヤ教徒ではなく唯一の神を信じていたわけでもありません。それでも「イスラエルの中でこれほどの信仰を見た事がない」＜10 節＞「と言われたのです。イエスが認めたのは百人隊長の人間としての誠実さ・優しさだったのです。「信仰」とは私達が多くの人との関わりの中で生かされている事を改めて気づかせてくれます。それは百人隊長のように自分に関わっている他の人達の「苦しみ」を感じ、そこで自ら何とかしようと行動を起こし、誠実にそれをしっかりと実行していく事の大切さを気づかせています。そして、それは私達の「信仰」の質を端的に表すものなのです。

権 甲植

10月第2例会議事録

日時： 10月22日(水) 18:30～20:00

場所： 芦屋市民センター204号室（敬称略）

参加者： 田辺会長・上野・柏原・桑野・島田・濱瀬・坂東福原(各ワイズ)、井島担当主事

☆プリテン編集会議： 18:30～18:40

議事・報告

第1例会予定 会場は原則ホテル竹園芦屋
時間は原則 19:00～21:00

・11月19日(水) ゲストスピーカー： 浅野純一ワイズ
「イギリスの王侯貴族」 (西宮クラブ)

・12月23日(火) クリスマス祝会 18:00～21:00
エンターテイナー：「片岡さわこ」カンツリーバンド、
PAとドラムスは太岩元会員に依頼。
会費：10,000円とする

☆ H・ホテル竹園交渉担当： 柏原・上野、
チラシ担当： 上野、プログラム担当： 桑野

・1月21日(水) 新春放談会

その他

・12月は、クリスマス会アピールで各クラブを訪問、
会費の1/3を補助する

・12月17日(水) 第2例会は、クリスマス準備会(オークションの値付け) 16時30分～ H竹園2F会議室

・会計報告は訂正のため、メールで再度報告する 承認
・十勝じゃがいもファンデ： 詳細報告は11月上旬

・11月15日(土) 六甲部部会 Hクラウンパレス神戸
EMC シンポジウム： 13:00～

各クラブEMC活動報告を2分行なう。担当： 桑野
講演： 14:00～16:00 懇親会： 17:00～18:00

- ☆会長顔写真、クラブのアピール活動写真を、井高六甲部部会事務局へ10月末までに送る 田辺会長
- ・11月23日(日) チャリティランをしあわせの村にて開催。
支援金・出展ブース・競技参加の件 報告済み
- ・きらりと輝くアート展

福原主査よりこれまでの経過報告があった。みどり福祉作業所と芦屋市障がい者基幹相談センターに呼びかけの依頼をした。チラシ95枚をそれぞれの施設に配布

次回実行委員会 10月22日(土) 13:00～

- ・次期会長は桑野友子ワイズ、次期会計は濱瀬ワイズ

YMCA 報告

10月25日YMCA秋祭り YMCAにて10:00～15:00

書記 柏原佳子

スピーカーのプロフィール



昭和23年11月10日、大阪府生まれ、神戸市で育ちました。関西学院大学社会学部卒業後、民間金融機関の勤務を経て昭和52年より、兵庫県立高等学校の社会(現・地理歴史)

科教員を勤めました。定年退職後、世界史・日本史の市民講座を開講しました。

西宮ワイズメンズクラブに2007(平成19)年1月に入会。

YMCA ニュース

ウエルネスセンターより

「冬に向けて準備をしましょう♪」

「秋」をすぐに通り返して「冬」になりそうな気配です…。冬は気温の低下や日照時間の減少により、体調を崩しやすい季節です。風邪やインフルエンザなどの感染症を予防し、元気に過ごすためには、日常生活の中でいくつかの工夫が必要です。まず大切なのは「身体を冷やさないこと」です。特に首・手首・足首の「三つの首」は冷えやすいため、マフラーや手袋、靴下などで保温を心がけましょう。入浴も効果的で、ぬるめのお湯にゆっくり浸かることで血行が良くなり、免疫力の維持にもつながります。次に、食事面ではバランスの取れた栄養摂取を意識することが大切です。ビタミンCやビタミンDを多く含む食品(みかん、ブロッコリー、鮭など)は免疫機能を高め、風邪の予防に役立ちます。また、根菜類や鍋料理など体を温める食材を積極的に取り入れましょう。さらに、冬は空気が乾燥しやすく、喉や鼻の粘膜が弱りがちです。加湿器の使用や、こまめな水分補給で湿度を保つことが重要です。外出後の手洗い・うがいを習慣づけることも、感染症予防の基本です。最後に、運動不足にも注意が必要です。寒さから外出を控えがちになりますが、軽いストレッチや室内での運動を取り入れることで、体の代謝が上がり、冷えや疲れを防げます。十分な睡眠をとり、規則正しい生活を送ることが、冬を健康に乗り切るための基本です。

担当主事 井島裕介

編集後記： ◆やっとならぬ霜月らしい気候になりました。でも阪神間の紅葉はまだまだですね。◆ウィンドウズ 11、一寸使い勝手が悪い。皆様は如何ですか？ 桑野友子